

【スローガン】
楽しみ7分 活動3分
をいつも心に 仲間の
輪を広げよう

年金者 大阪 しんぶん

全日本年金者組合 大阪府本部
〒530-0041
大阪市北区天神橋1-13-15
TEL06[6354]7207
FAX06[6354]7746
Eメール info@o-nenkin.com
HPは「大阪年金者組合」と検索



生き生き人生

和田 博子さん (87歳) 富田林支部

和田さんは大阪市鶴見区（元城東区）で1936年に生まれた。榎本小学校、中高は信愛女学院に。父は大阪市の職員。兄弟は女女男女の4人で博子さんは長女だ。

戦争中は親の故郷の淡路島洲本に家族で疎開し、戦後までいた。食事は淡路島名産の玉葱を3食食べていた。母親と列車（当時淡路島には汽車が

通っていたで買い出しに行き、警察に没収されたことが一番辛かつたと言う。兵隊に行つた父親は終戦1年後の真夜中にトコトコと帰ってきたそうだ。優しい父親だつた。大阪駅前のヤミ市に連れて行つてくれて、その時食べた白い米のご飯が美味しかつた。

「母親と仲良くしてほしい」と言われ、博子さんは義母を90歳で亡くなるまでずっとお世話をした。博子さんは富田林の学童保育指導員の一期生で、市職員労組と一緒に闘ったそうだ。「絶えず腹が立っていた。しかし仕事は楽しかった」最近、隣近所の10人ほどで食事会をしているとか。また一旦つぶれた老

金剛山へ二千回登りました
一回も入院したことありません

かし、博子さんは夫の同窓会の人たちと、エベレストに旅行したり、北海道に行ったりと活発に生きてきた。夫の豊一さんは

試金石

副首都機能の整備に係る立法措置の骨子素案を読みと、東京巻

かし、博子さんは夫の同窓会の人たちと、エベレストに旅行したり、北海道に行ったりと活発に生きてきた。夫の豊一さんは「母親と仲良くしてほしい」と言われ、博子さんは義母を90歳で亡くなるまでずっとお世話をした。博子さんは富田林の学童保育指導員の一期生で、市職員労組と一緒に闘つたそうだ。「絶えず腹が立つていた。しかし仕事は楽しかった」。最近、隣近所の10人ほどで食事会をしているとか。また一旦つぶれた老人会を再建したと言う。とにかく元気で前向き。年金者組合について聞いてみると「有難い。繁昌亭も良かった。一人ではなかなか行けない。グラウンドゴルフのサークルもやっている、日帰りバス旅行も良かった」とのこと。金剛山には二千回登り、車の免許も55歳で取得し現役。病気入院は一度もないとのこと。驚きの博子さんだった。

副首都機能の整備に係る立法措置の骨子素案を読むと、東京圏への一極集中が日常的に問題なのか、「災害等」の発生により首都中枢機能を維持するこれが問題なのか解りにくい。特別区の設置要件も理解に苦しむ。国民経済の発展及び国民生活の安定向上に資することを目的とするとされているが抽象的すぎる。副首都機能の指定を受ければ経済基盤の強化を図るとも記載されているが、たちまち問題となる被災者受け入れの住居・医療・教育などは触れられてない。福島原発事故避難者が末期がんであることを無視して、生活保護打ち切りや市営住宅明け渡しを求めた高裁判決で、大阪市の転居指導の違法性が認められるような自治体にそこまで求めるのは無理なのか。

補聴器の種類
補聴器には大きく分けて3種類のものがあります。耳あな型補聴器、耳かけ型補聴器、ポケット型補聴器の3種類です。

それぞれの補聴器の特性と値段

①耳あな型補聴器



耳あな型

補聴器は耳のあなに入れて使うので、補聴器を付けても目立ちにくいです。補聴器のイヤホンの部分はオーダーメードで自分の耳型を取つて作ります。価格は10万円～70万円まで様々です。スピーカーと音を集めるマイクの位置が近いため、ピーピー音が鳴ります。

耳あな型
補聴器は耳のあなに入れて使うので、補聴器を付けても目立ちにくいです。補聴器のイヤホンの部分はオーダーメードで自分の耳型を取つて作ります。価格は10万円～70万円まで様々です。スピーカーと音を集めるマイクの位置が近いため、ピーピー音が鳴ります。



③ポケット型補聴器

耳あな型



府本部機関紙学校

秋の機関紙学校2022年11月11日(日)開催。約70人が参加しました。「戦後80年 事実に向かいい不戦の誓いを!・」と、総がかり集会は11月3日(月)に中之島公園で女性像前で開かれ、2千人参加しました。オーブニングで、二三礼さん(機関紙協会府本部)が歌を披露。山本健治さん(とめよう改憲!おおさか)が挨拶。(写真)は講師の坂手崇保さん(機関紙協会府本部)で実際に紙面づくりを学びました。参加者はまず美味しい



大阪総がかり集会

5・新聞のつくり方【実践編】は講師の坂手崇保さん(機関紙協会府本部)を含め10人の参加で行われ、熱心に機関紙編集ソフト「パーソナル編集集」で実際に紙面づくりを学びました。参加者はまず美味しい



大阪高齢者大会

11月1日(日)開催。約70人が参加しました。バンド演奏(写真)は『シャーケクス』の皆さん。記念講演で「働く高齢者をめざして」とのテーマで石倉康次さん(総合社会福祉研究所理事長)は、会員調査結果のデータを示し

て縦横に話しました。

また、新政権の危険性

について「現役世代の保

険料率の上昇を止め、引

き下げていく」としてい

るが、庶民受け狙いで幻

想をふりまき、実際に

社会保障を切り下げる

療・介護の切り下げる

想をふりまき、実際に

社会保障を切り下げる

想をふりまき、実際に

住まいは人権

23年の全体の持ち家率は

60・9%ですが、34歳以下

の若者世帯の75%は民間賃

貸高齢単身世帯も32%が

1賃当たりの家賃は民間賃

貸が最も高いです。

の若者世帯の75%は民間賃

貸高齢単身世帯も32%が

旅の思い出

23年ぶりの伊勢本街道

銀行支部 石原 利徳

5月2日、私も参加している河合町歩こう会の例会で奈良県宇陀市の鳥見山公園を訪ねました。

河合町歩こう会という会は奈良県河合町に住む人を中心組織された、23年の歴史を持つ、会員100人近い団体でほぼ毎月行事を行っています。今回は325回目の例会でした。

自宅マンションの駐車場を出て、西へ30mの交差点を左折しようとした時、南側から来た自転車よける為に急ハンドルを切ったので転倒し、膝と腕と頭を打撲しました。た費用分は交通共済給付

5月2日、私も参加している河合町歩こう会の例会で奈良県宇陀市の鳥見山公園を訪ねました。

河合町歩こう会という会は奈良県河合町に住む人を中心組織された、23年の歴史を持つ、会員100人近い団体でほぼ毎月行事を行っています。今回は325回目の例会でした。

自宅マンションの駐車場を出て、西へ30mの交差点を左折しようとした時、南側から来た自転車よける為に急ハンドルを切ったので転倒し、膝と腕と頭を打撲しました。

お守りのつもりで入つた、交通共済が

幸い特に問題がなかつたので転倒し、膝と腕と頭を打撲しました。た費用分は交通共済給付

茨木支部 山本 静子

作品「干支の午」



ほとんどのサークルは、元支部分割後も、堺北支部、堺支部、堺東支部と

は思いませんでしたが助

かりました。茨木支部の

共済の担当者様にはお世

話になり、ありがとうございました。

11月は年

もおられ、最近の参加者

は少なめです。

【お詫びと訂正】

10月15日号の「この1冊 今日も読書」で、本の写真と文章が間違っていました。

お詫びし、正しいものを今号に再掲載します。

兵士の思いにも迫る
伝單とは敵に降伏を促したり戦意を喪失させるための宣伝ビラです。本書は百数十点もの伝單を

「この1冊 今日も読書」
伝單で読み直す太平洋戦争 一ノ瀬俊也著
2007年3月
講談社選書メチエ 四六判277ページ
本体1700円

紹介しながら太平洋戦争を可視化し、伝單という情報戦、心理戦の効果や戦場のリアルを浮き彫りにします。さらに伝單を

リビン、沖縄などで、自國から見捨てられ飢えに苦しむ日本兵は、敵の伝單を読むことで戦況を知り、戦意を失つたり投降を決意したりします。捕虜になるのを忌避したのは味方の目や家族への影響を恐れたからだといいます。



この1冊 今日も読書

年金者しんぶん

俳句

この暮らし明日も続くか桐の秋

高槻支部 後藤 久代

水瓶の琵琶湖に感謝夏日さし

平野支部 藤本 君子

木の葉落つそろそろ辞表出そうかと

松原支部 辻本 益代

竹の春百三母の笑み宝

堺北支部 坂本多美子

睫毛白し遺されし妻の敗戦忌

都島支部 上野とき子

九月の雨季節移ろう音がする

高槻支部 山根 慶子

風の朝ぎんなん拾う老夫婦

富田林支部 一芝 竹夫

錦秋や吟朗々の喉仏

松原支部 おくだまさこ

川柳

芝を舞うトンボに見とれ低スコア

富田林支部 木下 町子

反物がただ百円で売れてゆく

羽曳野支部 浦 かつ美

フトコロが値上げに耐えられぬ

河内長野支部 森本 万作

閉幕しあとは本音の賭博場

堺堺支部 垣内 輝子

三度目の正直はない都構想

堺堺支部 垣内 輝子

狭い日本日照りも水も災害に

堺堺支部 垣内 輝子

馬車馬と言葉も古い超保守派

堺堺支部 垣内 輝子

連立で身を切る改革民意切り

堺堺支部 垣内 輝子

寝屋川支部 中村久美男

短歌

堅い木を削るわざかな音を聴く君の聴覚私も

欲しい 寝屋川支部 長野 晃

ファイナーレは国旗を背負い拍手受くキーウの

自公立の「年金改革」にこの物価高波の間に

間にひとり食む膳 岸和田支部 堀内 輝子

朝まだ見知らぬ人ご挨拶距離をはかりて話が弾む 吹田支部 正楽 良子

三十五度の続く九月の今朝の野辺盗人萩がビンクに咲けり 藤井寺支部 宇留間英一郎

マイチャリをお天馬のように乗りこなし急坂

かける八十路も忘れ 枚方支部 佐藤 信子

今もなお戦は地上にはびこりて罪なき人らの地獄に生きる 箕面支部 佐野 映子

(文芸欄は投稿や各支部発行の機関紙に掲載された作品を紹介しています。選者:織部巖)



『医療は万民のもの』を掲げ志なかばで斃れた医師中島辰猪』藤田廣登著／2024年9月／学習の友社／A5判174頁／本体1500円

短い生涯を人助けにさ
さげた
「金儲けのために大学に行くのじやない。病院治療運動に参加し、困難に

立ちはだかるも27歳で早逝した中島の生涯と足跡を追います。

農民組合の運動によつて設立された青砥無産者診療所から、亀有無診、さらに千葉北部無産者診療所から、「医療は万民のもの」を貫きました。官憲に検査され留置場で病気を発症し最期をとげました。

けるためだ」文学青年だった中島辰猪が医療の道を選んだ理由です。これを聞いた母も「それでなく『医療は万民のもの』を選んだ理由です。これを聞いた母も「それでなく『医療は万民のもの』を選んだ理由です。これを